



JASDAQ

平成 26 年 5 月 2 日

各 位

会 社 名 株式会社マツヤ
代表者名 代表取締役社長 小山 栄造
(JASDAQ・コード 7452)
問合せ先 執行役員財務本部長 北川 正一
(TEL (026) 241-1314)

資本業務提携契約の締結、第三者割当による新株式発行及び 主要株主の異動に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 5 月 2 日開催の当社取締役会において、アルピコホールディングス株式会社（以下「アルピコホールディングス」といいます。）との間で、資本業務提携（以下「本資本業務提携」といいます。）を行うことを決議し、同日付で資本業務提携契約を締結いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

また、当社は、本資本業務提携に伴い、平成 26 年 5 月 2 日開催の取締役会において、アルピコホールディングスに対する第三者割当による新株式発行（以下「本第三者割当」といいます。）を行うことを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

なお、本第三者割当により、当社の主要株主の異動が見込まれますので、併せてお知らせいたします。

記

I 資本業務提携の概要

1. 資本業務提携の理由

当社は、大正 3 年に創業、昭和 43 年に株式会社としてスーパーマーケット事業を開始して以来、長野県内において地域に密着した流通企業として発展してまいりました。

近年においては、本年 10 月の創業 100 周年に向けて、競争に打ち勝つ強固な事業基盤を築くべく、売上増加に向けた店舗の活性化と、ローコストオペレーションの追求による合理化・効率化を推進し、競争力の向上に注力してまいりました。

しかしながら、長野県においては、少子高齢化と人口減少による市場の縮小傾向が続き、大手資本や県外企業の出店によるオーバーストア状態に加え、他業態からの参入などにより競争環境はますます激化している状況にあります。

このような状況において、当社としては、競争に打ち勝つ企業体質の確立のため様々な施策を実施してきましたが、当社の業績及び財務状態ともに想定より厳しい状況にあることから、平成 26 年 2 月 4 日に抜本的な事業構造改革を伴う中期経営計画を策定し、中長期的な事業規模の拡大と収益性の

向上を実現するための施策を公表いたしました。

当該中期経営計画の基本方針は「生鮮デリカの強化。価値創造企業への転換」、「事業フォーマットの明確化による店舗の収益力強化」、「構造改革によるキャッシュ・フローの改善」を掲げ、基本方針に基づく主要施策は、①既存店舗の収益力強化やデリカのインストア製造強化等の「店舗価値向上」、②不採算店舗の閉鎖等の「事業構造の改革」の2点の実行を柱としたものです。

事業構造改革に係る諸施策の実施に伴い、平成26年2月期に特別損失（減損損失及び事業構造改革損失）の計上及び繰延税金資産の取り崩しをする見込みとなりましたので、中期経営計画の公表と同日付の平成26年2月4日に、平成26年2月期通期の業績予想の大幅な下方修正を行いました。

平成26年2月期通期の業績悪化に伴う自己資本の毀損により、資本増強による安定的かつ健全な財務基盤の構築が必至となりました。

そのような中、当社としては、中期経営計画の実効性を高めるうえで、投資資金の確保と財務基盤の強化を可能とする資本提携先と、収益向上及びコスト削減を可能とする業務提携先の両方を満たすパートナーを必要としている状況にありました。

一方、アルピコホールディングスは、長野県にて小売、交通、ホテル・旅館の各事業を中心に総合生活関連グループを展開しており、アルピコホールディングスグループの主力3事業の一翼である小売事業を担う中核企業として、株式会社アップルランド（以下「アップルランド」といいます。）は当社と同じく長野県内でスーパーマーケット「アップルランド」、「デリシア」の店舗を展開しています。アップルランドは、「お客様のことを第一に考え、お客様に「おいしさ」と「安心」をお届けする企業になりたい」との経営理念の実現に向け、商品開発・価格対応力の強化及び従業員教育によるサービスの向上などを着実に続けてきた一方で、近年の県内の環境等の変化に対応するべく、新たな収益の向上策やコスト削減策を模索している状況にありました。

当社とアルピコホールディングスは、同じ長野県内を営業基盤としていることもあり、これまで様々な接点がありました。今後の長野県におけるスーパーマーケットのあり方について広く意見を交わす中で、資本業務提携を通じて、両社が長野県内広域のローカルチェーングループを効率的に形成することで、両社の更なる成長に寄与するとの考えに至りました。

この度の資本業務提携によって、長野県の北信地域を営業基盤としている当社と、中信地方を営業基盤としているアップルランドが、ローカルチェーングループを形成することで、当社としては、商品の共同開発による商品力の強化及び店舗運営ノウハウの共有による収益向上や、資材調達等の効率化及び物流等のインフラの相互活用等によるコスト削減をシナジー効果として享受できるものと考えております。

このような理由に基づき、当社は、アルピコホールディングスとの間で平成26年5月2日付けで、資本業務提携契約を締結し、後記「II 第三者割当による新株式発行」に記載の通り、アルピコホールディングスに対して、本第三者割当を実施することといたしました。

2. 資本業務提携の内容

(1) 業務提携の内容

当社とアルピコホールディングスとの間で現時点において合意している業務提携の概要は、以下の通りです。具体的な内容につきましては、今後、提携内容協議会（仮称）を設置し、両社間

の協議により決定してまいります。

- ① 商品の共同開発による商品力の強化
- ② 資材調達等の効率化
- ③ 物流等のインフラの相互活用
- ④ 効果的な販促ノウハウの共有
- ⑤ 人材教育プログラムの共有を通じたサービスレベルの向上
- ⑥ 店舗運営ノウハウの共有
- ⑦ その他合意している事項

(2) 資本提携の内容

当社は、本第三者割当により、アルピコホールディングスに当社の普通株式 1,748,000 株（本第三者割当後の所有議決権割合 19.90%、発行済株式総数に対する割合 17.20%）を割当てます。資本提携の詳細は、後記「II. 第三者割当による新株式発行」をご参照ください。当社及びアルピコホールディングスは、資本業務提携契約において、当社が平成 26 年 5 月 30 日開催予定の定時株主総会に、アルピコホールディングスが指名する者 1 名を取締役候補者に含む取締役選任議案を提出する旨を合意しております。

3. 資本業務提携の相手先の概要

アルピコホールディングスの概要は、後記「II. 第三者割当による新株式発行 6. 割当予定先の選定理由等 (1) 割当予定先の概要」をご参照ください。

4. 日程

- | | |
|------------------------------------|------------------|
| (1) 本資本業務提携及び本第三者割当に関する取締役会決議日 | 平成 26 年 5 月 2 日 |
| (2) 本資本業務提携及び本第三者割当に関する資本業務提携契約締結日 | 平成 26 年 5 月 2 日 |
| (3) 本第三者割当の払込期日 | 平成 26 年 5 月 13 日 |

5. 今後の見通し

後記「II. 第三者割当による新株式発行 8. 今後の見通し」をご参照ください。

II. 第三者割当による新株式発行

1. 募集の概要

- | | |
|---------------------------|--|
| (1) 払込期日 | 平成 26 年 5 月 13 日 |
| (2) 発行新株式数（募集株式の数） | 当社普通株式 1,748,000 株 |
| (3) 発行価額（以下、「払込金額」といいます。） | 1 株につき 217 円 |
| (4) 調達資金の額 | 379,316,000 円 |
| (5) 募集又は割当方法（割当予定先） | 第三者割当の方法による。（アルピコホールディングス） |
| (6) その他 | 前記各号について、金融商品取引法に基づく有価証券届出書の効力発生を条件とします。 |

2. 募集の目的及び理由

本第三者割当により当社株式に一定の希薄化が生じますが、前記「I. 資本業務提携の概要 1. 資本業務提携の理由」に記載の通り、本第三者割当は、当社とアルピコホールディングスとの業務提携と併せて実施するものであり、両社間の協力体制を構築し、本資本業務提携を確実なものにするためのものであります。

また、本第三者割当による財務体質の改善により、当社の企業価値及び株主価値の向上に資するものと考えております。

3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期

(1) 調達する資金の額

① 払込金額の総額	379,316,000 円
② 発行諸費用の概算額	30,000,000 円
③ 差引手取概算額	349,316,000 円

- (注) 1. 発行諸費用の概算額には、消費税等は含まれておりません。
2. 発行諸費用の内訳は、登記関連費用（登録免許税等）、弁護士費用、アドバイザリー・フィーの概算です。

(2) 調達する資金の具体的な使途

本第三者割当による調達資金は以下の通り、主として設備投資等に充当する予定です。

具体的な使途	金額（百万円）	支出予定時期
①店舗の改裝	49	平成26年5月～平成29年2月
②維持更新	300	平成26年5月～平成29年2月

(注) 調達した資金につきましては、支出するまでの期間、銀行口座にてリスクの低い適時適切な資金管理をするものであります。

当社は、本第三者割当による調達資金を主として店舗改裝や維持更新費用等に充当する予定であります。①店舗の改裝としては、平成 26 年 5 月から平成 29 年 2 月にかけて、レイアウトの変更を含めた生鮮デリカを中心とした売り場の改善、冷ケースの入替、照明の LED 化等を順次実施し、売り場の魅力向上、顧客の回遊性改善とともに店舗の省エネ化を図ってまいります。上記支出予定時期の間に合計 10 店舗程度の大規模改裝を計画しております。店舗の改裝に係る投資金額については、約 400 百万円を予定しておりますので、今回の調達資金で不足する金額については、金融機関からの借入で調達することを予定しております。②維持更新としては、店舗の改裝と同じ時期に、更新時期を迎えている店舗のレジや什器、空調機器等の入替を実施するとともに、お客様用トイレの修繕や店舗外装や駐車場の補修等を順次行ってまいります。維持更新に係る投資金額については約 460 百万円を予定しており、今回の調達資金で不足する金額については営業キャッシュ・フローにて賄う予定しております。

これにより、当社店舗における商品の販売力強化やコスト削減等の効果が見込まれます。これらは、当社グループの中期経営計画（平成 26 年 2 月 4 日付適時開示）に掲げた施策の一環で、今後の事業の維持及び拡大に必要不可欠であり、早期の業績回復、企業価値の向上に資するものと考えております。

す。

4. 資金使途の合理性に関する考え方

上記「I. 資本業務提携 1. 資本業務提携の理由」に記載の通り、当社と割当予定先であるアルピコホールディングスは業務提携を行い、これに伴い、当社が割当予定先に対して本第三者割当を併せて実施するものであり、両社間の協力体制を構築し、本資本業務提携を確実なものにするためのものであります。

具体的には、本第三者割当により調達する資金を上記使途に充当することにより、当社の店舗としての集客力・競争力を向上させるとともに、「I. 資本業務提携 2. 資本業務提携の内容 (1) 業務提携の内容」に記載の商品の共同開発による商品力の強化、資材の共同調達等のスーパーマーケットとしての構造的な改善をより効果的かつ効率的に行うものであります。

以上から、今回の資金調達は、当社の企業価値を向上させることができとなり、既存株主の利益に寄与するものと考えており、当該資金使途には合理性があるものと判断しております。

5. 発行条件等の合理性

(1) 払込金額の算定根拠及びその具体的内容

本第三者割当による募集株式の払込金額は、取締役会決議日の直前営業日から 1 カ月を遡った期間の東京証券取引所 JASDAQ 市場における当社普通株式の終値の平均値 217 円(円未満切り捨て)といたしました。

上記期間の当社普通株式の終値の平均値を採用いたしましたのは、当社は、平成 26 年 2 月 4 日に平成 26 年 2 月期の通期業績予想を大幅に下方修正する旨の公表を行ったため、その後、株式市場で形成された株価の方が当社の直近の財政状態及び経営成績を公正に反映しているとの考えに基づき、また、当社株価の変動状況を考慮し、一定期間の当社普通株式の終値の平均値という平準化された値を基準とするほうが算定根拠として客観性が高く合理的であると判断したためであります。

上記の払込金額は取締役会決議日の直前営業日の終値 208 円に対して 4.3% のプレミアム、直前営業日から 3 カ月遡った期間の終値の平均値 285 円(円未満切り捨て)に対して 23.9% のディスカウント、直前営業日から 6 カ月遡った期間の終値の平均値 418 円(円未満切り捨て)に対して 48.1% のディスカウントとなっております。

この点、当社が、払込金額に合理性が認められると判断するに至った理由は、以下の通りです。

当社は、平成 26 年 2 月 4 日付で業績の下方修正を行っているため、当社の株価のうち取締役会決議日の直前営業日から 3 カ月遡った期間の終値の平均値及び直前営業日から 6 カ月遡った期間の終値の平均値は、このような業績の下方修正の事実を織り込む前の、当社の企業価値を実態より高く反映した市場価格を一部含むものであると考えられます。

加えて、払込金額については、日本証券業協会の「第三者割当増資の取扱いに関する指針」(平成 22 年 4 月 1 日)において、原則として株式の発行に係る取締役会決議の直前営業日の価額に 0.9 を乗じた額以上の価額であることが要請されておりますが、本第三者割当の払込金額は、取締役会決議日の直前営業日の終値 208 円に対し、4.3% のプレミアムであり、当該指針の要請に反するもの

ではないことから、払込金額は合理性があり妥当であると考えております。

なお、本第三者割当に関して監査役 4 名（うち社外監査役 3 名）から、払込金額は、上記日本証券業協会の「第三者割当増資の取扱いに関する指針」に準拠していること、早急な自己資本の増強が求められている当社の状況を考慮すれば、第三者割当増資により財務基盤を拡充することにより企業価値の向上を図ることは、既存株主の利益に資すると考えられることから、特に有利な価額及び条件での発行に該当せず、「適法である」との意見を得ております。

(2) 発行数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠

本第三者割当により、アルピコホールディングスに対して割当てる株式数は、1,748,000 株（議決権の総数 17,480 個）であり、本第三者割当前の当社普通株式の発行済株式数 8,415,000 株の 20.77%（議決権の総数 70,336 個の 24.85%）に相当し、これにより一定の希薄化が生じます。

しかしながら、当社といたしましては、アルピコホールディングスとの本資本業務提携は当社の企業価値及び株主価値の向上に繋がるものと考えており、本第三者割当による発行数量及び株式の希薄化の規模は合理的であると判断いたしました。

6. 割当予定先の選定理由等

(1) 割当予定先の概要

① 名 称	アルピコホールディングス株式会社	
② 所 在 地	長野県松本市井川城二丁目 1 番 1 号	
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 堀籠 義雄	
④ 事 業 内 容	純粹持株会社として子会社の事業活動の支配・管理等	
⑤ 資 本 金	500 百万円（平成 26 年 5 月 2 日現在）	
⑥ 設 立 年 月 日	平成 20 年 5 月 1 日	
⑦ 発 行 済 株 式 数	普通株式 35,973,460 株 種類株式 A 4,215,000 株 種類株式 B 3,000,000 株 種類株式 C 2,000,000 株 (平成 26 年 3 月 31 日現在)	
⑧ 決 算 期	3 月末日	
⑨ 従 業 員 数 (連 結)	1,877 人（平成 25 年 9 月 30 日現在）	
⑩ 主 要 取 引 銀 行	株式会社八十二銀行 株式会社みずほ銀行	
⑪ 大株主及び持株比率 (普通株式)	(平成 26 年 3 月 31 日現在)	
	サンリン株式会社	17.71%
	高沢産業株式会社	14.16%
	鈴與株式会社	8.85%
	株式会社損害保険ジャパン	5.31%
	ホクト株式会社	5.31%

	株式会社高見澤	5.31%
	株式会社八十二銀行	4.79%
	八十二キャピタル株式会社	3.06%
	株式会社岡村製作所	2.53%
	松本信用金庫	1.77%
	三井住友海上火災保険株式会社	1.77%
(種類株式A)	株式会社八十二銀行	53.08%
	アルピコホールディングス株式会社	46.92%
(種類株式B)	株式会社八十二銀行	100.0%
(種類株式C)	アルピコホールディングス株式会社	100.0%

⑫ 当事会社間の関係

資本関係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社との間には、特筆すべき資本関係はありません。
人目的関係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社との間には、特筆すべき人的関係はありません。
取引関係	当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社との間には、特筆すべき取引関係はありません。
関連当事者への該当状況	当該会社は、当社の関連当事者には該当しません。また、当該会社の関係者及び関係会社は、当社の関連当事者には該当しません。

⑬ 最近3年間の経営成績及び財政状態（単位：千円。特記しているものを除く。）

決算期	平成23年 3月期	平成24年 3月期	平成25年 3月期
連結純資産	9,232,828	9,863,467	11,004,899
連結総資産	53,959,001	53,157,421	51,345,404
1株当たり純資産(円)	125.86	165.20	236.39
連結営業収益	71,590,841	69,173,110	66,703,767
連結営業利益	3,076,060	2,893,494	2,860,505
連結経常利益	2,247,019	2,216,702	2,305,495
連結当期純利益	459,457	689,361	1,157,241
1株当たり連結当期純利益(円)	28.66	43.00	72.18
1株当たり配当金(円)	—	—	—

当社は、割当予定先であるアルピコホールディングスは、有価証券報告書を継続的に提出している会社であり、その社会的信用性は高く、反社会的勢力等の介入リスクはないものと認識しております。

また、割当予定先から当該会社並びにその役員及び主要株主が反社会的勢力その他特定団体と関係を有しない旨の誓約書も本日受領しており、社内の独自調査（Web検索等）で確認した結果、割

当予定先であるアルピコホールディングス並びにその役員及び主要株主が、反社会的勢力及びその他特定団体等と関係するような情報は検出されなかつたため、当該関係を有しないものと判断しております。なお、当社は、東京証券取引所に当該会社並びにその役員及び主要株主が反社会的勢力その他特定団体との関係を有しない旨の確認書を提出しております。

(2) 割当予定先を選定した理由

当社が割当予定先としてアルピコホールディングスを選定した理由は、「I.資本業務提携の概要 1.資本業務提携の理由」に記載の通りです。

なお、アルピコホールディングスとの本資本業務提携の主な内容につきましては、「I.資本業務提携の概要 2.資本業務提携の内容」をご参照ください。

(3) 割当予定先の保有方針

割当予定先からは、中長期的に保有する方針である旨の意向を口頭にて確認しております。

また、当社はアルピコホールディングスが払込期日から2年間において本第三者割当により取得した株式の全部又は一部を譲渡した場合には、直ちに、譲渡を受けた者の氏名及び住所、譲渡株式数、譲渡日、譲渡価格、譲渡の理由、譲渡の方法等を当社に書面により報告すること、当社が当該報告内容を株式会社東京証券取引所に報告し、当該報告の内容が公衆の縦覧に供されることを同意する旨の確約書を取得する予定であります。

(4) 割当予定先の払込みに要する財産の存在について確認した内容

当社は、アルピコホールディングスより本第三者割当に必要な資金を有している旨の説明を口頭にて受けしており、また、同社の第5期有価証券報告書及び第6期半期報告書により経営成績及び財務状態を確認した結果、本第三者割当に係る払込みに必要かつ十分な現預金を有していることを確認しており、その後かかる財務内容が大きく悪化したことを懸念させる事情も認められないことから、本第三者割当の払込みに関しては、確実性があるものと判断しております。

7. 募集後の大株主及び持株比率

本第三者割当前（平成26年2月28日現在）	本第三者割当後
有限会社小山興産	21.63%
自己株式	16.41%
株式会社八十二銀行	4.15%
マツヤ社員持株会	4.13%
日本生命保険相互会社	3.57%
株式会社みずほ銀行	2.94%
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	2.91%
有限会社小山興産	17.91%
アルピコホールディングス株式会社	17.20%
自己株式	13.59%
株式会社八十二銀行	3.43%
マツヤ社員持株会	3.42%
日本生命保険相互会社	2.95%
株式会社みずほ銀行	2.43%

小山光作	2.77%	あいおいニッセイ同和損害保 險株式会社	2.41%
株式会社長野銀行	2.32%	小山光作	2.29%
株式会社オーシャンシステム	2.21%	株式会社長野銀行	1.92%

- (注) 1. 本第三者割当前の持株比率は、平成 26 年 2 月 28 日現在の株主名簿を基準としております。
 2. 平成 26 年 2 月 28 日現在、1,381,011 株の自己株式を所有しております。
 3. 本第三者割当後の持株比率は、本第三者割当による新株式発行で増加する株式数 1,748,000
 株を加算した 10,163,000 株をもとに算出しております。
 4. 持株比率は、発行済株式総数に対する所有株式数の割合を小数点以下第 3 位を四捨五入して表
 示しております。

8. 今後の見通し

当社とアルピコホールディングスは、本資本業務提携により、事業上の協力関係を強化し、当社と
 してシナジー効果を享受することで、その結果、企業価値及び株主価値の向上に資するものと考えて
 おりますが、現時点では、平成 27 年 2 月期の連結業績への具体的な影響額については未定です。具
 体的な影響額が明らかになった場合には、速やかに開示いたします。

加えて、本第三者割当により主要株主の異動が生じる見込みであります。詳細は 11 頁をご確認下
 さい。

9. 企業行動規範上の手続きに関する事項

本第三者割当は、①希薄化率 25%未満であること、②支配株主の異動を伴うものでないことから、
 株式会社東京証券取引所の定める有価証券上場規程第 432 条に定める経営者から一定程度独立した
 第三者からの意見入手及び株主総会決議などによる株主の意思確認手続きを要しません。

10. 最近 3 年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況

(1) 最近 3 年間の業績（連結）

決算期	平成 24 年 2 月期	平成 25 年 2 月期	平成 26 年 2 月期
連結売上高	39,304,762 千円	38,182,529 千円	36,896,339 千円
連結営業利益	175,925 千円	△213,568 千円	137,183 千円
連結経常利益	53,005 千円	△360,003 千円	△81,339 千円
連結当期純利益	△166,468 千円	△218,114 千円	△2,228,465 千円
1 株当たり連結当期純利益	△23.55 円	△31.01 円	△316.8 円
1 株当たり配当金 (内、1 株当たり中間配当額)	12.00 円 (-)	6.00 円 (-)	0.00 円 (-)
1 株当たり連結純資産	381.54 円	341.03 円	22.20 円

(2) 現時点における発行済株式数及び潜在株式数の状況

	株式数	発行済株式数に対する比率
発行済株式総数	8,415,000 株	100.0%
現時点の転換価額（行使価額）における潜在株式数	一株	－%
下限値の転換価額（行使価額）における潜在株式数	一株	－%
上限値の転換価額（行使価額）における潜在株式数	一株	－%

(3) 最近の株価の状況

① 最近の 3 年間の状況

	平成 24 年 2 月期	平成 25 年 2 月期	平成 26 年 2 月期
始 値	620 円	637 円	488 円
高 値	708 円	675 円	584 円
安 値	500 円	471 円	333 円
終 値	637 円	487 円	335 円

② 最近 6 か月間の状況

平成 26 年	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月
始 値	558 円	560 円	584 円	562 円	322 円	220 円
高 値	565 円	565 円	584 円	562 円	327 円	240 円
安 値	550 円	555 円	552 円	333 円	208 円	207 円
終 値	558 円	561 円	560 円	335 円	221 円	207 円

③ 発行決議日の前日における株価

	平成 26 年 5 月 1 日
始 値	204 円
高 値	208 円
安 値	203 円
終 値	208 円

(4) 最近 3 年間のエクイティ・ファイナンスの状況

該当事項はありません。

11. 発行要項

(1) 発行新株式数	1,748,000 株
(2) 発行価額	1 株につき 217 円

(3) 発行価額の総額	379,316,000 円
(4) 資本組入額	1 株につき 108.5 円
(5) 資本組入額の総額	189,658,000 円
(6) 募集方法	第三者割当
(7) 申込期日	平成 26 年 5 月 13 日
(8) 発行期日	平成 26 年 5 月 13 日
(9) 割当先及び割当株式数	アルピコホールディングス株式会社 1,748,000 株
(10) その他	上記各号については、金融商品取引法に基づく有価証券届出書の効力発生を条件とする。

III. 主要株主の異動

1. 異動に至った経緯

前記の通り、本第三者割当により異動が生じる見込みであります。

2. 新たに主要株主となる株主の概要

名称：アルピコホールディングス株式会社

なお、所在地等の概要につきましては、前記「II. 第三者割当による新株式発行 6. 割当予定先の選定理由等 (1) 割当予定先の概要」をご参照ください。

3. 異動前後における当該株主の所有する議決権の数（所有株式数）及び総株主の議決権の数に対する割合

	議決権の数 (所有株式数)	総株主の議決権の 数に対する割合※	大株主順位
異動前 (平成 26 年 2 月 28 日現在)	一 個 (一 株)	—	—
異動後	17,480 個 (1,748,000 株)	19.90%	第 2 位

(注) 1 平成 26 年 5 月 2 日現在の発行済株式総数 8,415,000 株

議決権を有しない株式として発行済株式総数から控除した株式数 1,381,351 株

異動後の総株主の議決権の数に対する割合は、本第三者割当による新株式発行により増加する議決権の数（17,480 個）を加えた数である 87,816 個を基準としております。

2 大株主順位につきましては、平成 26 年 2 月 28 日現在の株主名簿をもとに、現時点において想定した順位を記載しております。

4. 異動予定期日

平成 26 年 5 月 13 日（予定）

5. 今後の見通し

前記「II. 第三者割当による新株式発行 8. 今後の見通し」をご参照ください。

以上